

伊勢原協同病院 初期臨床研修プログラム

放射線科

I プログラムの名称

伊勢原協同病院 放射線科初期臨床研修プログラム

II プログラムの管理・運営

プライマリ・ケア医の研修養成課程で、放射線科を選択科目と研修希望するものを対象として、3ヶ月間の下記研修プログラムを履修する。研修医1名に対して、臨床経験7年以上の上級医が直接指導を行い、さらに指導医が総括的な指導を行う。

III プログラムの指導者

1) 責任者・指導者

・大川 伸一 部長

IV 一般目標

2年間の初期臨床研修の中で、一般臨床医に必要な放射線医学の基本となる考え方、臨床技術などを学ぶ。とくに、プライマリ・ケアの場面で必要な画像診断法について、その手技・装置の操作・最低限の診断学を習得する。

V 行動目標

(1) 患者—医師関係

- ・ 患者の社会的側面を配慮した意思決定ができる。
- ・ 守秘義務の徹底。

(2) チーム医療

- ・ 画像診断および放射線治療において、他科医師と円滑なコミュニケーションを持ち、患者にとって最良の診療を行うことができる。

(3) 問題対応能力

(4) 安全管理

(5) 医療面接

- ・ 患者の的確な問診ができる。
- ・ コミュニケーションスキルの習得

(6) 症例呈示

(7) 診療計画

- ・ クリニカルパスの活用。
- ・ 癌末期医療における緩和ケア、在宅医療、介護を含めた総合的治療計画に参画できる。

(8) 医療の社会性

- ・ 医療保険制度
- ・ 社会福祉，在宅医療
- ・ 医の倫理
- ・ 麻薬の取り扱い
- ・ 文書の記録，管理について

VI 経験目標

- 1) 放射線診断
 - a) 単純撮影・造影検査（血管造影など）・CT検査・MRI検査の意義，臨床における位置づけや限界，具体的な検査法について研修する。また，各画像診断の基礎となる解剖や診断装置の原理および構造，操作方法を習得する。
 - b) CT検査
 - CTからみた解剖の理解
 - CT検査の臨床における位置づけ
 - 基本的疾患および急性疾患の診断
 - 造影の適応および造影方法，撮像方法の理解
 - c) 血管造影検査およびIVR
 - 血管解剖の理解
 - 緊急検査としての血管造影・IVRの意義および方法の理解
 - non-vascular IVRの手技の見学
 - 基本的疾患および急性疾患の診断
 - d) MRI検査
 - MRIの原理およびMRIからみた解剖の理解
 - 基本的疾患の読影
- 2) 放射線防護・安全管理・事故の対応
- 3) 核医学
 - 核医学検査の原理および適応の理解

VII 研修スケジュール

研修スケジュールについては研修医の希望も考慮し，柔軟に対応するが，画像診断を中心とした1週間の研修時間割を下記に提示する。（半日を1単位とする）

研修は原則として，午前8時30分から午後5時までとする。

頭部CT	2単位
体部CT	2単位
MRI	1単位
血管造影・IVR	1単位

緊急血管造影検査やnon-vascular IVR，イレウス管挿入などについては適宜見学

放射線科内のカンファレンス・読影会出席は義務とし，診療各科とのカンファレンスには可能な限り出席する。